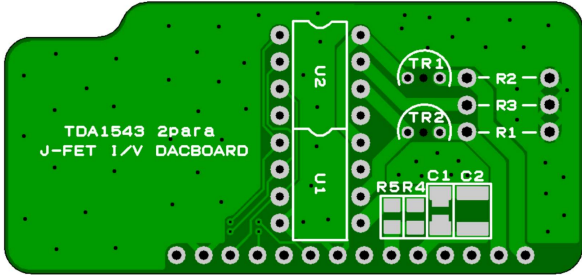


TDA1543 2para J-FET I/V Board 部品表 2022/3/31版



黄色の部品は付属しています。

定数	部品番号等	数量
メイン基板		1
470	千石、若松など DALE PRPなどの1/4サイズR1,R2	2
680-1K	千石、若松など DALE,PRPなどの1/4サイズR3	1
2以下 2012サイズ	千石等 R4,R5	2
0.1uF 50V PMLCAP	秋月 P-07396 C1	1
220uF 6.3V	秋月 P-08261 C2	1
2SJ498		
J-FETならNチャン、Pチャン、どちらも使えます。かなり音に影響します	秋月 I-11509 TR1,TR2	2
8pin DIPソケット	秋月 P-00035	2
ピンヘッダ (オスL型) 1 × 4 0 (4 0 P)	秋月 C-01627 (切って使う。2 台分取れる)	1
TDA1543	AITENDOなど。U1,U2	2

免責事項
1) 本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
2) 基板の動作の完全性 (安全性、動作性を含む) は一切保証されるものではありません。
3) 本資料を参考に組み立て (部品調達を含む) が可能な方を対象としています。
4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
6) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

データフォーマットについて

MAX側の設定は、「I2S」となります。

R3について

R3はVREFで、個体差が出る可能性があります。おおよそ820-825の抵抗で私の環境は合いました。

個体ごとに変わる部分なので、まずは 1Kー5Kの可変抵抗をいれて最適値を見つけてください。

音量80程度で、音楽を再生し、音が割れないポイントにしてください。その後、その値に近い固定抵抗に置き換えてください。

オシロを持ってる方は、1KHzのサイン波を再生して、Vppがいちばん取れて、かつ、波形の山谷がきれいな場所に調整してください。

680-1Kの抵抗を用意し、差し替えていってもよいかもしれません。

抵抗を 2 つ組み合わせても固定抵抗のほうが可変抵抗より音が上に感じます。

R4,R5について

調整後、最大音量で音が歪むのが気になる場合はR4,R5の調整を行ってください。

TDA1543は50mA引きますのでR4,R5によって0.1Vくらい電源電圧がドロップします。

この抵抗が低ければ低いほど電圧がドロップしません。

よってここを 0 オームにして歪が改善するか確認してください。

(0オームだとフィルタが効かなくなるので、ノイズが出るかもしれません。)

0 オームでも駄目なら、R1,R3 (IV) の値を下げて、R3を再調整してください。(最大音量は下がる形になります)

組み立てについて

基板の裏面はリード部品の足が飛び出ないようにツライチカットした上、絶縁を行ってください。